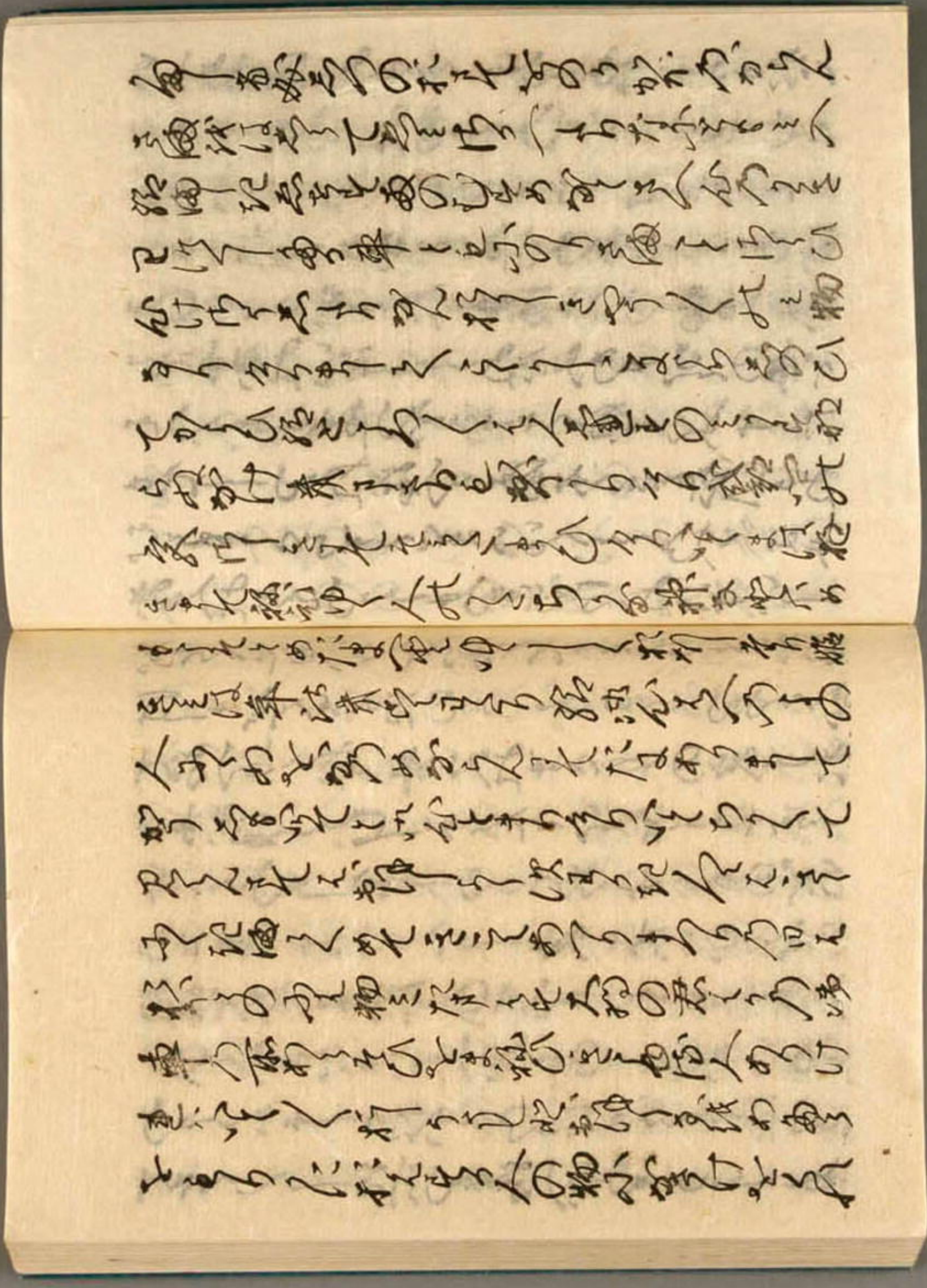
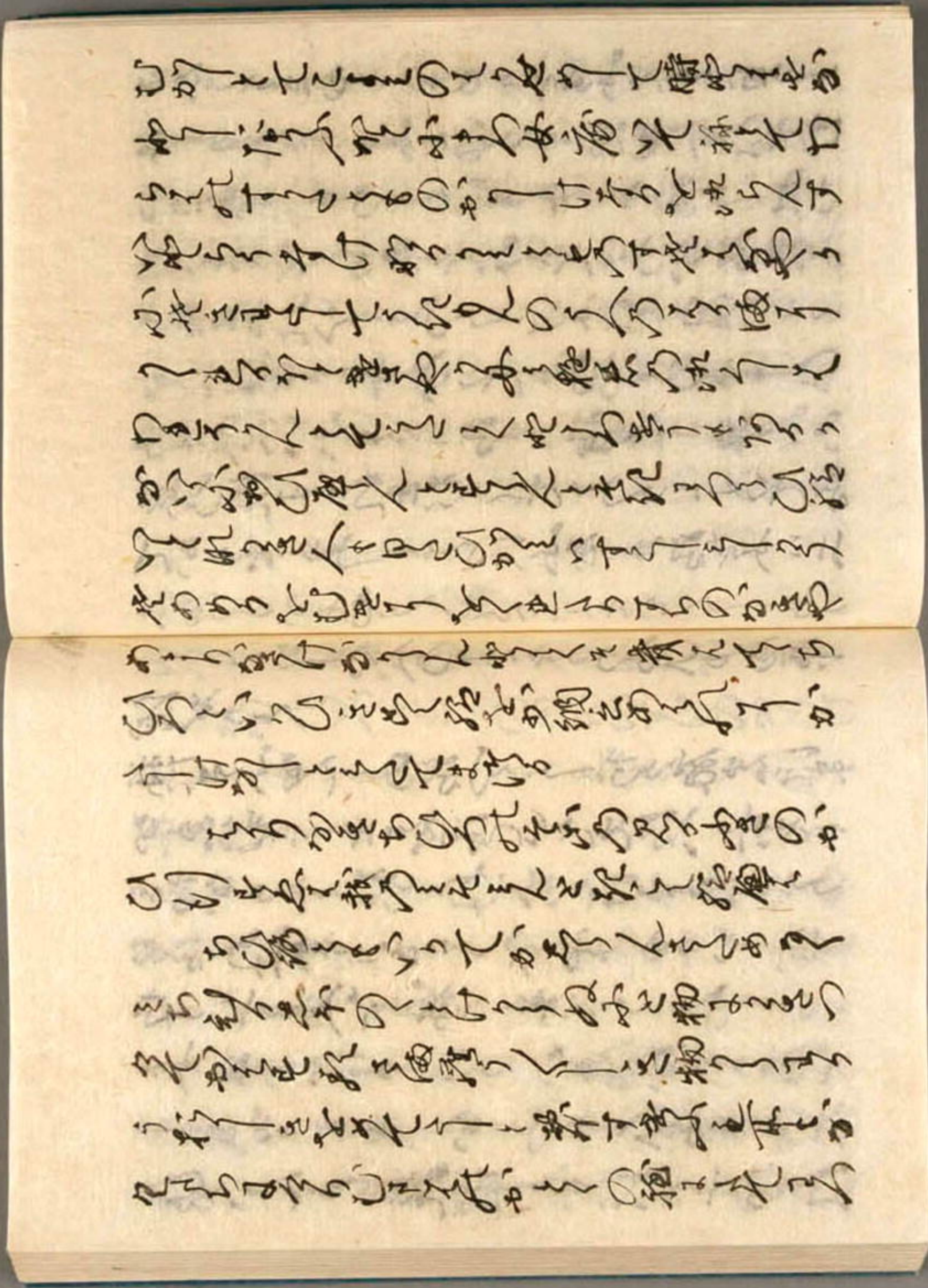
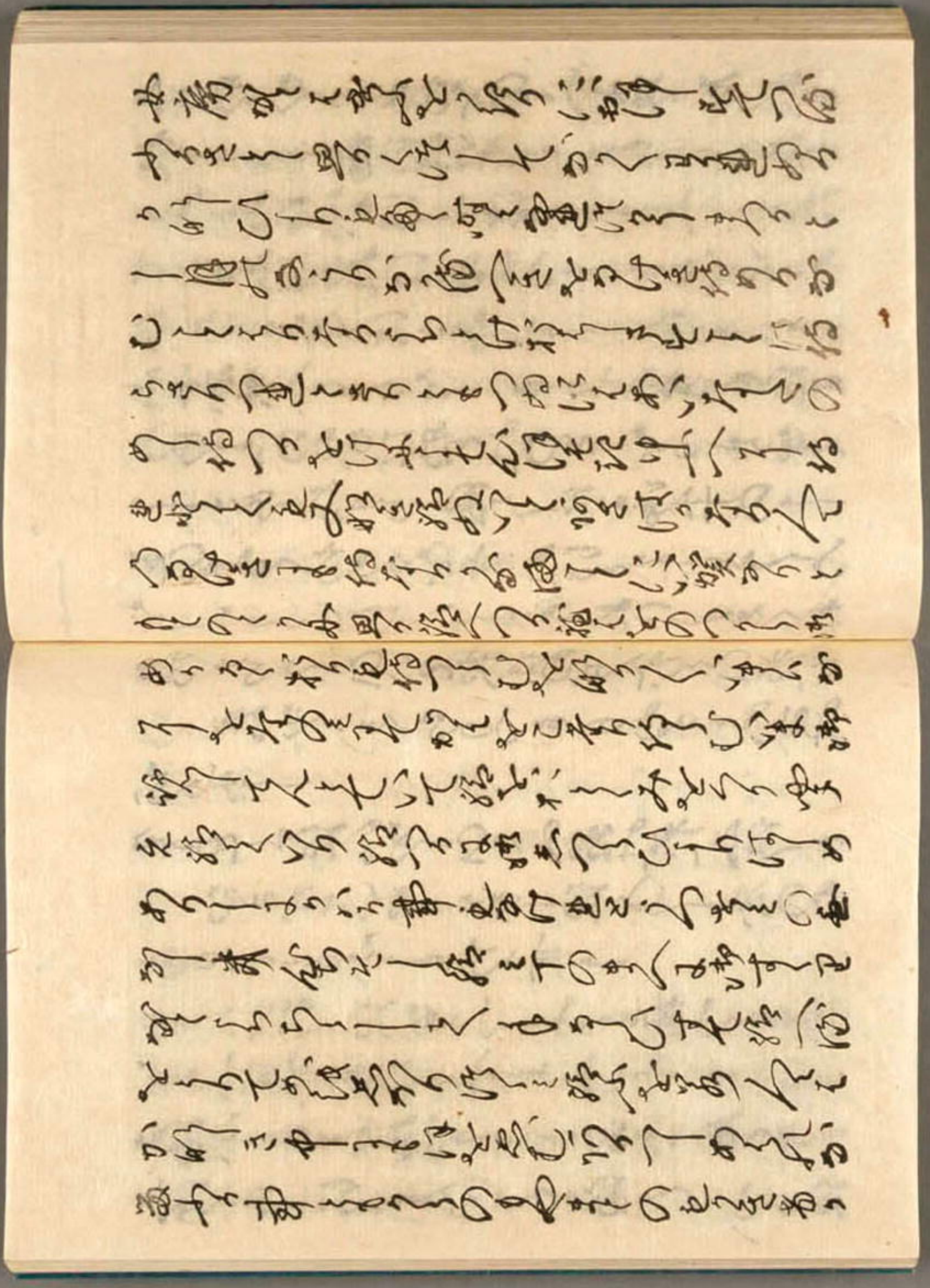
WA7
(9)
263





らうたくらめ花車をおさへて物見は
し出たりゆかしうやすらひ給ふよ給ふ
さ女車の伴ひのりこぼれ出たる衣を
はいて人をまねきよせてくるまやとめ
給ひねあさりさこらんと申すありいう様す
を物からんと抑されて取ゝけよる見より
かまへ六月さしきさせ給ていとそ見給へる取ると
給たさふかんとの給へてらしいう扇出しては
後ありく
たる御しや人かとさぞわかかひは色部

のゆかしのせふと給なる見めの内にてわか
てそとあかしいる事六日の内結のすけのかりけ
里ねさきもしらありてくを聞ゆくれと
なくさう
かさしなるあるそはさにおもかゆるや
そらら人まかへてくわうひと好いつもしや
おもひ五月なり
風しくも流したるれかのをしして
人なれぬなる草木もうそ申す往人やと
あひのりそく見まれなどとみめけ給をねぞんや

[illegible]

[illegible]